



SHIKA-CHU IB Journey

鹿追中学校国際バカロレア通信



鹿追町立鹿追中学校
IBCO 奥平 和也
2025.9.3 Vol.34

ダイジェスト②

前号に引き続き、夏休み前までの本校の様子をダイジェスト(?)にお伝えします。

エントリーNo.3 ストーニープレインからの留学生来校

毎年恒例、鹿追町の姉妹都市であるカナダのストーニープレイン町からの「交換留学生等友好訪問団」のみなさんが鹿追中学校を訪れてくれました(学生12名、引率者3名)。

授業では本校3年生の生徒が自分たちで考えたアクティビティを行い、友好を深めました。

訪問団のみなさんの相手を尊重し、交流を深めようと努める姿勢に、子どもたちも感じるが多かったようです。

2年前アルファベットを書くところことからスタートしていた彼らが、今ではこうしてネイティブを相手にオールイングリッシュで堂々とアクティビティを進め、コミュニケーションを取って友達になっている。考えてみたらすごい成長だなと思います。



中3の言語の習得（英語）の授業ではちょうど「当たり前」という概念を探究テーマに据えたユニットが実施されており、この交流は学びを深めるまたとない機会となりました。

例えば印象的だったのはこんなシーンです。

『（給食にて）先生どうしましょう！カナダの皆さん、いただきますしないで食べ始めちゃいました！どうしましょう?!』

『でも考えてみたらさ、配膳後もみんなが揃うまで食べずに待つので、《当たり前》のことなのかな??』

『ん？た・・・確かに・・・』

私たちの日常の大抵の小競り合いはお互いの中にある「当たり前（～すべきなのにどうして!!）」を相手に押し付けた時に生まれるものだと私は感じています。

お互いの「当たり前」にズレがある時、それでも同じ目標に向かって共に進むためには落とし所を話し合っ「約束」をする必要がありますが、日本人はそもそも合意形成を作る話し合いが苦手です。同じ文化的背景の人がほとんどなので、必要に迫られる

機会が少なく、あっても大抵「なんとなく」で乗り切れる文化だからです（持論）。

「人を傷つけてはならない」は人類共通の「当たり前」ですが、そうではない「当たり前」に必要以上に苦しむ子どもたちのなんと多いことか・・・。

でもそんな子に、「世界は広いぞ！」なんて口で言ってもなかなか伝わらないんですよ！

ですから今回のような、育ってきた環境、文化的背景の違う方々との実際の交流の機会はとても貴重でありがたいものでした。彼らの中の「当たり前」の概念が壊され、再構築されていく様子は私も見ていて嬉しいものでした。（今読者の皆様の中では「ダイジェスト」という概念が壊されかけているかもしれませんが、それはそのままでもよろしいかと思います。）

UNIT2 探求の間2 「文化の違う相手と一緒に過ごす時に困りそうなことってどんなこと？」

25

提出済み

16

割り当て済み

提出を受け付けています ⓘ

提出済み ▼



7月8日

言語の違い、マナー（食事など）、生活（法律違う）、季節、

返信

テキスト



7月8日

価値観や生活習慣、食べ物とかかな～？

返信



7月8日

自分の第一言語が通じなかったり、自国の文化、相手の文化を理解するのに時間がかかる。そして、相手の言葉がわからないと会話の内容がわからなかったり、かみ合わなかったりする。

国によって人への関わり方や、気遣いの仕方が違うことがあると思うからそこにも困ってしまうと思う。 ⓘ

①何が違うと「面白い？」②何が一緒だと「嬉しい？」かな

奥平和也・7月10日

違うって。。。「怖い」、「めんどくさい」。でも、、、「面白い!」。この部分を今回の交流を通してストーリープレイン訪問団のみなさんに体感してもらいたいよね。こういう不安を抱えながらも勇気を持って留学してきた人たち、この交流の中でどんなことがあると「来てよかった(面白い!)」と感じるかな？

🗨️ クラスのコメント

和也

| クラスのコメントを追加...

B *I* U ☰ ✖



「違う」って面白い。これから世界で活躍する彼らにはそんなマインドセットを育ててほしいと願っています。

先生方に単元の設計をする時にIBコーディネイターとしてお願いしている「縛り」の二本柱は

①実社会の課題やニーズと学びを結びつけた総括的評価課題の設定と、

②この単元をきっかけに生徒の中で再構築させたい「概念」の設定です（探究テーマ&探究の問い）。

①は生徒の「表現力」の向上 ②は前号でお伝えした「日常に問いを」と同様、生徒の「中身（思考力）」の向上 に寄与するものだと私は捉えています。

私は学生時代、彼らと同じように自分の中の狭い「当たり前」に悩み、留学の経験を通して良い意味でそれを打ち壊された経験が、今の自分の中でも活かされている実感があります。

そこで、今回のユニットの探究テーマに「当たり前」という概念を据えました。ざっくりでいけば、教科の中で道徳をやる感じといえイメージしやすいでしょうか。

私は先生として「勉強を教えたい！」というよりも「人生を伝えたい！（一緒に考えたい）」という思いの方が強いタイプなので、この縛りは結構好きだったりします。

エントリーNo.4 「え？本当に大学出たばかりなの？！」グレートティーチャー丸谷先生

前号の通信[[鹿中IB通信NO,32](#)]でもご紹介しました瓜幕中の

丸谷先生による保護者向けワークショップに私も参加させていただきました。IBの学びの面白さを地域のみなさまにいかにして伝えると効果的なのか、私自身大変勉強になりました。今はアメリカの大学院にいる彼女の鹿追町での活躍ぶりはこちらの記事で詳しく書かれています（リンク：

<https://note.com/shikaoui0810222/n/nbc48ff66732f>）。

本校在籍の米山先生（同じく都留文科大学卒業生）もそうですが、最近の若い世代の先生方は学生時代に本当にしっかりと学ばれているのだなと感心させられてしまいます。大学って、勉強するところだったんだ知らなかった・・・。

うりのお課外授業 ① 1 時間目 バカロレアって？

7月11日まで瓜幕にバカロレアの専門家がいるという噂を聞きつけた陣員は、翌日中学校の公開授業に行ってみた。教室に入ってみたものの何の授業しているのかよく分からない。ただ、私が習った、決まった答えに最適で通り着くための学習とは違うようだった。そこで今さらながらバカロレアって何？昔の教育と何が違うのか聞きたいと思った。

この実習相談に笑顔で応えてくれたのが丸谷美寧（まるたに みいな）さん。大学で教育を学び、インターナショナルスクールやバカロレア指定校で教鞭を振るい、瓜幕の後はアメリカ留学予定と、教育のあり方を考え続けているお方でした。今回は、無知な私にもわかるように、バカロレアと今の教育について、バカロレア風授業で教えていただくことになりました。第二部はお酒を入れて丸谷さんの頭の中を覗こうと思います。瓜幕を離れる人だからこそ語れることもあるかも。ご興味ある方がいらっしゃいましたら、ぜひ授業と熊酒場をご一緒しましょう！

とき 7月8日（火）

じかん 1部 夜6時から

2部 夜7時30分から2時間

ばしよ 1部 ウリマックホール和室

2部 熊酒場

おかね 1部 無料

2部 熊酒場で食べて飲んだ分

申込み どなたでも参加できます。飛び込み参加も可
ですが、できれば事前に申込みく

主 催 うりまく笑顔プロジェクト

問合せ 大西まで 080-5584-0240



申込みフォーム



今日のゴール

- ✓ 国際バカロレア教育(IB)の授業体験
- ✓ IBについて誰かに伝えることができる



登山ガイド

- 準備運動

【教育は社会の変化とつながっている】

- 教育ってなに？
- 社会の変化ってなに？
- 社会の変化と教育はどのようにつながっているの？
- 国際バカロレア教育の学びはこの地域にどう影響するだろう？



今年度から本校でも都留文科大学のIB実習生を受け入れることになっており、彼らの活躍する姿も楽しみにしているところです。

そしてそして！保護者のみなさまには学校だよりやマチコミでは周知済みですが、実習生の受け入れに伴って、大学の教授も鹿追で授業や講演をしていただけるということに！

下記の通り、次週9月10日（水）に都留文科大学の教授をお招きしての保護者向け講演会が企画されています。こんな機会はありません！お時間許せば是非ご参加ください。

「哲学」という一見難しそうなタイトルではありますが、地域のみなさまにIBの学び方を体験していただけるような設計のワークショップになります。

どうぞ怖がらずに、安心してご参加いただければと思います。

令和7年8月25日

鹿追中学校保護者の皆様

鹿追町立鹿追中学校

校長 上野 精嗣

都留文科大学教員による講演会について（ご案内）

残暑の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対し一方ならぬご支援とご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、9月に教育実習生を迎え入れるにあたり、都留文科大学の教員に来校していただけることになりました。その際に保護者向けの講演会を次の日程で開催いたします。つきましては、時節柄何かとご多用のこととは存じますが、ご来校の上ご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

記

- 1 期 日 9月10日（水）18：30～20：00
- 2 会 場 瓜幕中学校体育館
- 3 講演内容 「哲学対話とは何か」
- 4 講 師 都留文科大学国際教育学科 藤井翔太 講師
研究テーマ：応用哲学、教育哲学
研究内容：「生き方としての哲学」という観点から、日常生活における哲学の位置づけや、哲学的思考を身につけることの意義について研究しています。
- 5 その他 9月12日（金）14：25～15：15の日程で、全校道徳「ネットいじめ予防」をテーマに都留文科大学国際教育学科 青山郁子 教授に授業していただきます。
生徒向けではありますが地域・保護者の皆様のご参加も歓迎いたします。

本日はここまで！大分消化することができました。あと私のメモに残っている記事候補は・・・

①先生方の校内研修。②CP & SAの取組たち。③IB認定の第二次審査通過、④New ALT Kyrie 先生 etc..です！

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

バックナンバー2024	概要
鹿中 IB 通信NO.1 ↑クリックするとアクセスできます。	この通信の趣旨や 国際バカロレアとは何か? について書いています。
鹿中 IB 通信NO.2	年度当初に行った生徒向けの IB オリエンテーション について書いています。 当日の動画や資料も見られます。
鹿中 IB 通信NO.3	こちらは保護者向けの IB オリエンテーション と、同日行われた 参観授業（国語）をIB視点で解説 しています。
鹿中 IB 通信NO.4	参観授業紹介第二弾です。理科の授業の内容を 《概念》 と絡めて書いています。
鹿中 IB 通信NO.5	参観授業紹介ラストです。社会と保健体育の授業の内容から 《IBで知識の定着にかける時間が減る問題》 に対する工夫について紹介しています。
鹿中 IB 通信NO.6	IB教育の大きな柱である ATLスキルと10の学習者像 とはどういったものかについて、 道徳の授業実践 を元に解説しています。

<p><u>鹿中 IB 通信 NO,7</u></p>	<p>十勝毎日新聞の記事になったというお話と、1学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,8</u></p>	<p>子どもたちが「総括的評価課題」に取り組む様子の紹介と、2学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,9</u></p>	<p>「SA」「CP」についての説明の前段としてのお話と、3学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,10</u></p>	<p>「SA」についての具体的な説明や生徒たちの夏休みの宿題について書いています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,11</u></p>	<p>「コンサルタント訪問」についての説明や面談に向けての生徒や保護者のみなさまとのやりとりについて書いています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,12</u></p>	<p>「コンサルタント訪問」の実際の中身と主に生徒たちの面談での応答について紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,13</u></p>	<p>「文化祭と日常の学びの繋がり」について書いています。《前編》</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,14</u></p>	<p>「文化祭と日常の学びの繋がり」について書いています。《後編》</p>

<p><u>鹿中 IB 通信 NO,15</u></p>	<p>「コミュニティプロジェクト」についての説明と発表会の告知をしています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,16</u></p>	<p>2学年の総合的な学習の時間「未来への提案」の内容と目的について紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,17</u></p>	<p>保護者懇談会の中身と生徒の総括的評価課題の成果物について紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,18</u></p>	<p>2学年の総合的な学習の時間「自分探究プロジェクト」の内容と目的について紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,19</u></p>	<p>2学年の総合的な学習の時間「未来への提案」の発表会のお知らせをしています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,20</u></p>	<p>「未来への提案」の発表会の動画と、「総合的な学習の時間と各教科学びの繋がり」について書いています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,21</u></p>	<p>「自分探究プロジェクト」の実践のひとつについてのご紹介と関係するイベントの告知をしています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,22</u></p>	<p>IBに関するPTA保護者のみなさまとの座談会の模様についてご紹介をしています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,23</u></p>	<p>コンサルティング終了と認定に関しての取組について書いています。</p>

鹿中 IB 通信 NO,24	実際に鹿追中学校が認定されたらどうなるのかについて書いています。
--------------------------------	----------------------------------

バックナンバー2025	概要
鹿中 IB 通信 NO,25	この通信の主旨や既習事項のリサイクルについて書いています。
鹿中 IB 通信 NO,26	2025年度のIB概要説明（生徒向け）の様について書いています。当日の資料や動画もご覧いただけます。
鹿中 IB 通信 NO,27	本校生徒の活躍の一コマと、6月から始動する総合的な学習の時間「自分探究プロジェクト」と「コミュニティプロジェクト」について書いています。
鹿中 IB 通信 NO,28	「体育祭」の改革と、修学旅行発表会のお知らせについて書いています。
鹿中 IB 通信 NO,29	2025年度 Unit 1 の各教科総括的評価課題の概要について紹介しています。
鹿中 IB 通信 NO,30	「目指す生徒像」について書いています。
鹿中 IB 通信 NO,31	「瓜幕中学校の視察」について書いています。

<p><u>鹿中 IB 通信 NO,32</u></p>	<p>IB の保護者向けワークショップのご案内について書いています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,33</u></p>	<p>日々の取組の様子について、写真でダイジェストにお届けしています。</p>